

Ⓑ

国語総合

受験番号	
氏名	

問1

ア
祖先
イ
爆発
ウ
舞台
エ
突然
オ
情景

問2

a
とら
b
すじみち
c
きわ
d
がいねん
e
なわば

問3

あ
4
い
2
う
1

問4

a
3
b
5

問5

像全体がぼやけて見える

問6

点	在	する	点	の	「	動き	」	に	よ	つ	て	、	人	間	の	モ	ト		
シ	ョ	ン	や	、	男	性	ら	し	さ	、	女	性	ら	し	さ	と	い	っ	た
「	個	性	」	に	至	る	ま	で	の	様	々	な	概	念	が	認	識	さ	れ
る	。																		

問7

a
まもなく
b
半年
c
構造
d
○・二

問8

1

問9

自分自身の身体

問10

コ	ン	ピ	ユ	ー	タ	の	世	界	は	厳	密	に	記	述	さ	れ	た	ア	ル		
ゴ	リ	ズ	ム	が	な	け	れ	ば	ち	生	物	は	不	確	実	な	い	世	界	で	あ
る	。	し	か	し	、	私	た	ち	生	物	は	不	確	実	な	い	世	界	で	あ	
き	て	い	か	な	け	れ	ば	な	ら	な	い	。	「	見	る	」	能	力	の		
成	長	か	ら	分	か	る	よ	う	に	、	私	た	ち	は	自	分	の	体	を		
使	つ	て	積	極	的	に	世	界	に	働	き	か	け	、	「	思	い	込	む		
「	こ	と	に	よ	つ	て	世	界	を	主	観	的	に	作	り	出	す	こ	と		
が	で	き	る	よ	う	に	な	る	。	身	体	を	通	し	て	環	境	と	相		
互	作	用	す	る	よ	う	に	な	る	見	出	す	こ	と	で	私	た	ち	は		
この	不	確	実	な	世	界	を	生	き	て	い	く	こ	と	が	で	き	る			

計	問10	問9	問8	問7	問6	問5	問4	問3	問2	問1
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

2020年度一般入試 B日程

— 傾向と対策 —

国語総合

出題のねらい

大学生として必要な読解力と文章力、すなわち、論理的文章を読んで内容や論の組み立てを理解できるか、また、それについての自分の考えを表現する力があるかを問うことを目的として出題しています。ある程度の長さの文章を読んで、文章全体の構成や主旨を正しく理解し、設定された問題に応じて自分の意見をまとめることを要求します。年度によって文学史や文法の問題を出題することもあります。

出題形式・内容（分野）について

例年形式は変わっておらず、3000～4000字程度の文章とそれについての10前後の小設問で構成された大設問が1題というかたちで出題しています。出題範囲は現代文のみで論説文が多く、とくに文化について論じたものが多く出題されています。2020年度B日程では松田雄馬氏の『人工知能はなぜ椅子に座れないのか——情報化社会における「知」と「生命」』から出題しました。人工知能の専門家である著者が、人間がどのように世界を把握していくかを論じた一節を取り上げました。設問は10問です。基本的な漢字の読み、書き、空所補填の設問から内容を問う設問まで、9問を設定しました。正確に文章を読み取っているかを把握することをねらいとしています。漢字に関しては、大学生としてさまざまな文章を読みこなしていかなければならないと考え、高校までの学習範囲に限らず、一般的なものをも含めて出題しています。長文ではありますが、一つ一つの言葉の意味を押さえながら読み込んでいけば、それほど難しくはないでしょう。問10は、この文章の中心的なテーマである「生命知」について記述する問題です。200字以内でまとめることは、試験時間の中では難しいと感じられるかもしれませんが、最初に問題に目を通したうえでポイントを拾っておき、解答に取りかかれば無理ではないはずです。採点はすべて手作業で行っています。

採点後の感想・効果的な学習方法

「出題のねらい」にも書いたとおり、大学生として要求される基本的な読解と表現の力を問う出題ですので、普段からいろいろな文章を読み、考え、書く習慣をつけておくことが大切です。日常生活の中で、ある程度ボリュームのある文章を読む機会が減っていると感じるなら、意識的に新聞や雑誌など紙媒体の文章に触れることを心がけてください。設問の要求することを正確に読み取り、それに答えていくことも必要です。例えば「抜き出し」なのか、自分の言葉で「まとめ」なのか、何字で書くことを要求されているのか、といった「問われたことにきちんと答える」という姿勢がもっとも大切です。繰り返し出てくる表現もキーワードとしてしっかり押さえましょう。字数指定は「抜き出し」でも「まとめ」でも解答するための大きなヒントになります。